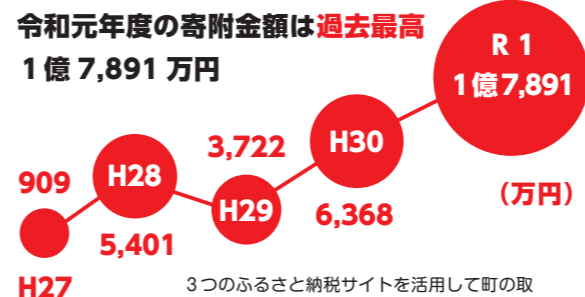


※令和元年度のふるさと納税寄附金額は令和2年3月31日現在での寄附完了分

観光振興

新たな魅力創出と情報発信

観光振興基本計画の策定に着手し、将来的な観光施設整備や都市交流など総合的な観点から町の観光の未来ビジョンを作り上げたいと考えています。昨年度から取り組む照葉樹の森を活用したイメージアップ事業も、具体的にマインドフルネス体験やEバイク体験など、体験メニューの実証などに取り組み、多様性のある新たな森の魅力を創出していきます。情報発信では有名インスタグラマーと連携して町の魅力や情報発信を進めています。あらゆる角度から積極的に発信することで、観光客や交流人口、関係人口の増に繋がります。



3つのふるさと納税サイトを活用して町の取り組みや事業者のこだわりの一品を掲載中

共感が生み出すつながり
ふるさと納税でファン創出

返礼品の豪華さやお得感で寄附を募るのではなく、取り組みや理念、寄附金の使い道などで関係を深めることで「錦江町のファン」づくりを目指した取り組みを進めています。令和元年度は寄附件数、寄附金額ともに過去最高。それと同時に、寄附者からの応援メッセージも大幅に増えています。ふるさと納税でつながる新たな町の姿。普段住んでいるとあまり気づかない自分たちの町の魅力を掘り起こすきっかけにもなっているのでは。新たなファン創出に向けさらに取り組みを強めます。

この地域で元気に長生き 福祉の支援体制を充実化

この地域で元気に長生き、福祉の支援体制を充実化。子育て支援など、パランスのとれた施策を展開しながら、安心して暮らせる町づくりを目指しています。住み慣れた地域で元気に暮らしたいと願う高齢者も多く、在宅での医療や介護といったサービスを含めた、地域包括ケアの仕組み作りが急務となっています。子育てなど若い方の支援も含めた、地域包括ケア体制の構築を念頭に進めていきます。



福祉・医療・介護・子育て支援など、パランスのとれた施策を展開しながら、安心して暮らせる町づくりを目指しています。住み慣れた地域で元気に暮らしたいと願う高齢者も多く、在宅での医療や介護といったサービスを含めた、地域包括ケアの仕組み作りが急務となっています。子育てなど若い方の支援も含めた、地域包括ケア体制の構築を念頭に進めていきます。

健康福祉 世代を超えた支え合い。すべての人が幸福を感じる町へ

健康福祉。世代を超えた支え合い。すべての人が幸福を感じる町へ。健康福祉の推進。世代を超えた支え合い。すべての人が幸福を感じる町へ。



◀広報きんこうでも病院の現状や協議内容を連載

肝属郡医師会立病院の老朽化 自分事として医療を考える時



現状を知ってもらうため病院見学会を開催

平成30年度から「南隅地域のための医療介護の姿検討委員会」を組織し、肝属郡医師会立病院の老朽化問題も含めて協議してきました。現状を知ってもらうための病院見学会や、町広報紙での連載、昨年9月にはシンポジウムを開催するなど、町民とともに現状を考える機会を設けてきました。公立病院化という選択肢も紹介されましたが、検討しなければならぬ重要な課題も多々あります。鹿児島地域医療構想の議論も踏まえ、引き続き可能性の検討を行います。

4月1日オープンの子育て世代包括支援センター 124名の応募から名称が「たんぼぼ」に決定！

公募で決定した子育て世代包括支援センター名は「たんぼぼ」。イメージキャラクター「はぐみん」は田代中2年の早瀬ひなたさんが名付け、南大隅高校の生徒4名がデザイン。



妊産婦期から子育て期まで
切れ目のないサポート体制

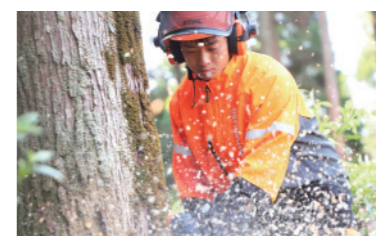
子育て支援センターや各保育施設と連携し、出産から子育てまで切れ目のない支援を行う「錦江町子育て世代包括支援センター」を今年4月に開設しました。子育てに関する相談窓口を一本化することで負担軽減を図ります。産後うつや新生児の虐待予防の観点から、産婦健康診査もを行い、産後の初期段階における母子の支援にも積極的に取り組めます。

◀センターの名称「たんぼぼ」をイメージして南大隅高校生がデザインした「はぐみん」。看板は田代中の1・2年生が作成しました。

基幹産業である農林水産業 後継者や人材育成の支援も

町の基幹産業である農林水産業全般に関しては、お茶や春ばれいしょの価格低迷や甘しょの病害発生など非常に厳しい年でした。今年度も労働力の確保や省力化対策、販路開拓など多くの課題に対し、さまざまな施策を一体となって取り組んでいきます。農業基盤充実に図るため、農産物販路拡大加工検討委員会を中心に、地域に適した作物の選定や新技術の導入で付加価値を高め、特色ある産地づくりや6次産業化への取り組みも引き続き支援します。新規就農者や後継者に対し、生活支援や生産性向上に向けた設備導入の補助も引き続き推進。次世代の人材育成にも積極的に取り組めます。

甘しょ 春ばれいしょ 後継者の確保、人材育成で次世代につなぐ産業支援を



伐採後の植林徹底を 林業振興

森林が持つ多面的機能を持続的に発揮させながら、消費者ニーズに対応できるような森林を育成していくことが重要。森林整備を通じて地球温暖化防止への貢献も求められていることから、適切な間伐、伐ったら植える植林を実施し、健全な森林を育成していきます。今年度から稼働が始まった木質バイオマス発電で森林資源を活かした林業振興を図ります。

担い手の育成を強化 畜産振興



各畜種とも若い担い手農家の就農が増えていることから、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業などを活用し、ICT技術の実証によるスマート農業の推進、生産性向上による経営安定対策、生産基盤の強化を図ります。2022年に鹿児島県で開催される全国和牛能力共進会に向けて、畜産振興資金貸付基金などを活用し、高齢牛の更新や増頭を進めます。

海や魚の魅力発信 水産振興



錦江湾の漁業資源増加を目的にヒラメやマガイの放流、人口海藻、藻場の保全など地域資源の維持や回復に向けた取り組みを行っています。町内小学生を対象にした「お魚料理教室」も引き続き支援しながら魚の魅力発信にも取り組めます。前年度は国の「浜の活力再生施設整備事業」で海面養殖施設を整備。養殖技術向上による所得増に向けて取り組みます。

鳥獣被害対策を行う6名の実施隊員



食肉利活用も視野に 有害鳥獣対策

狩猟免許取得者への助成や狩猟者登録時の狩猟税、登録手数料などの補助を引き続き行い、狩猟登録者の確保を図ります。有害鳥獣の対策では電気柵や箱わな導入により、農作物の被害対策に取り組めます。平成29年度に設置した鳥獣被害対策実施隊員を中心に、鳥獣による農作物の被害対策と併せて、捕獲した鳥獣の食肉利活用についても検討を進めます。